

1. 広尾までの道のり (前史) 1886~1923

東京女学館は欧米流の女子教育を目的に設立され、明治大正期は、永田町御用邸、虎ノ門旧工部大学校という、いわば間借り校舎での教育でした。虎ノ門時代には「高潔優美にして貞淑温良なる夫人を養成する」と、当時の高等女学校令の方向へシフトします。

大正12年9月1日、関東大震災により虎ノ門校舎は倒壊します。大震災の起こる前には新築の敷地も決まり、資金の準備も順調に進んでいましたが、そうした目算はすべて失われました。

学校・教育関係

- 1883(明治16)年 鹿鳴館落成
- 1886(明治19)年 女子教育奨励会設立
- 1887(明治20)年 帝国大学令・師範学校令・小学校令・中学校令
- 1888(明治21)年 9月11日開校
- 1890(明治23)年 教育勅語発布
- 1891(明治24)年 第一回卒業式
- 1893(明治26)年 初代館長 辻新次
- 1894(明治27)年 日清戦争
- 1898(明治31)年 創立10周年
- 1899(明治32)年 第2代館長 吉村寅太郎
- 1900(明治33)年 高等女子校令に準拠する5年の普通科と2年の高等科、別科を置く
- 1904(明治37)年 日露戦争
- 1907(明治40)年 小学校令改正 (義務教育6年となる)
- 1908(明治41)年 創立20周年
- 1909(明治42)年 伊藤博文暗殺
- 1912(明治45)(大正元)年 卒業の歌「花はうるわしき」初めて歌われる
- 1914(大正3)年 第一次世界大戦
- 1917(大正6)年 同窓会を「白菊会」と命名
- 1918(大正7)年 「志し菊」創刊
- 創立30周年祝典
- 第4代館長 神田乃武
- 1923(大正12)年 女子補導団発足

校舎関係

- 1887(明治20)年 東京女学館と称する
- 1891(明治24)年 最初の卒業生(明治24年)
- 1898(明治31)年 附属小学校設置
- 1908(明治41)年 創立20周年
- 1912(明治45)年 卒業の歌「花はうるわしき」初めて歌われる
- 1914(大正3)年 第一次世界大戦
- 1917(大正6)年 同窓会を「白菊会」と命名
- 1918(大正7)年 「志し菊」創刊
- 創立30周年祝典
- 第4代館長 神田乃武
- 1923(大正12)年 女子補導団発足
- 11月4日 授業再開

虎ノ門時代の「品性」
創立当初の学生は、豊かな家庭で育てられた子女でした。

宮内省より永田町御用邸(雲州屋敷)を校舎として借用

永田町御用邸の門

(虎ノ門時代始まる)
宮内省より虎ノ門の旧工部大学校生徒館を借用、移転

旧工部大学校校舎の校門

世界へ羽ばたいた卒業生
この頃すでに世界を相手に活躍した卒業生がいました。三浦環です。展示室で探してみましょう!

卒業記念の撮相(明治32年)

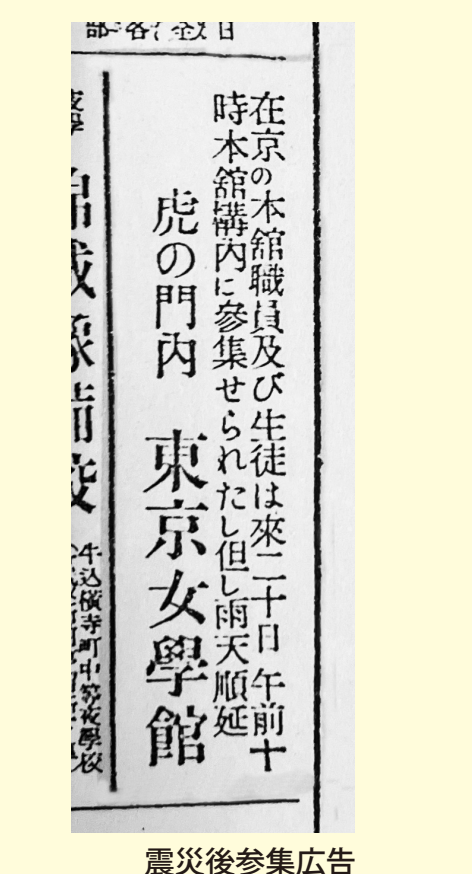
女子補導団とは
女子補導団、いわゆるガールスカウトは、未来を担う少女たちを育てるための課外授業でした。

3月 渋谷町羽沢御料地借用願提出

9月 関東大震災により虎ノ門校舎全焼

11月 羽沢御料地に仮校舎落成

羽沢仮校舎正門



青字：一般事項
緑字：歴代館長